



金沢大学医療技術短期大学部

- 〔所在地〕 〒 920 石川県金沢市小立野 5-11-80
 〔電話〕 0762-22-2211
 〔交通〕 国鉄金沢駅より北鉄バス錦町行、湯涌温泉行きを利用、大学病院（小立野）前にて下車。
 〔学科〕 理学療法学科、作業療法学科、看護学科、診療放射線技術学科、衛生技術学科、助産学科特別専攻。
 〔募集人員〕 理学・作業は各科 20 名、看護 80 名、放射線、衛生は各科 40 名。
 〔修業年限〕 3 年（昼間）
 〔倍率〕 理学療法（4.7）55 年度入試
 作業療法（2.3） ”

本学部は一世紀余の歴史をもつ金沢大学を背景に、大阪大学、九州大学に次いで全国で三番目の国立医療技術短期大学部として昭和 47 年 5 月 1 日に設置された。看護学科、診療放射線技術学科、衛生技術学科、助産学科特別専攻課程などに次いで昭和 54 年 4 月、国立大学として本邦では初のリハビリテーション関連学科である理学療法学科、作業療法学科が開設された。

リハビリテーション医学の重要性が高まり、その担い手である PT、OT には優れた技術と共に高い抽象思考能力と深い諸般の科学的知識が必要であることから、人間形成を基本とした大学教育が誕生した訳である。したがって本学の教育理念も、それに応じて、単に医療技術者の養成といったものではなく、真に現代医療のニーズに答えうる人材の育成を目指すものである。このために十分な教育環境条件を整え、人間性豊かで、高度の医療技術を駆使し、臨床、研究などの幅広い分野で活動でき、その上今後の PT、OT の指導的役割を果たすような人材の輩出を目標としている。

本学の学生は医療短大部はもちろんのこと金沢大学の各学部のいろいろな施設や図書館などが簡単に利用でき、充実した研究や学習に専念することができる環境を備えている。昭和 55 年 9 月にはリハビリテーション学科の専用校舎（5 階建て、2,906 m²）も完成し、施設、設備に関しても教育、研究上、申し分ない配慮がなされている。

教官構成については、一般教養で教授（数学、物理、化学、体育）、助教授（英語、生物）、講師（化学）の 7 名が配慮されており、また大学本部と隣接しているため、一般教養学部、教育学部、文学部などより他の教養科目は援助を願っている。また本学の他の看護学科などに内科系教授 4 名、基礎医学系教授 3 名など教官スタッフに恵まれ、幅広い教育が包括的になされている。PT、OT の専任教員も完成年次（昭和 56 年度）には PT、OT それぞれ教授 3 名、助教授、講師 3 名、助手 3 名程度、計 18 人の専任教員が揃うことになる。PT、OT 養成の設置にあたっては、文部・厚生省令 3 号、理学療法士、作業療法士学校養成施設指定規則に定められている基準に加えて短期大学設置基準に定める基準も備えているため、従来の PT、OT 養成校とは比較にならないほどの充実さであると思われる。

教育課程の編成に関しても、一般教養科目の充実はもちろんの如く、専門科目についても、PT、OT の特色ある科目を考慮すると共に、治療者として患者に対する基本姿勢、障害に対する理解および知識、治療原理などの創造的思考および構築能力などの養成教育に重点を置いて計画したものである。理学療法学科での専門授業科目の主なものは、生活能分析学、補装具学、機能診断技術学、運動治療技術学、物理治療技術学、衛生法規、老年医学、体力医学、人間工学、医用電子工学、情報科学概論などであり、作業療法学科においては、作業療法原理、身体治療技術学、精神治療技術学、生活能分析学、社会福祉学、臨床心理学、公衆衛生学、職能適性管理学などである。各教科の授業形態は、講義、演習、実習と分けられ、講義より得た知識を演習、実習科目で体得させ、手段として小グループを編成し、臨床実習の前段階教育の場として医療に対する使命の自覚と基本理念を理解させ、患者に惜しまない努力、研究への意欲ならびに専門技術の十分な修得を目指すことを配慮した。

開設して 2 年目で、未知の問題が山積みされているが、今後、本学の教育理念に基づいた立派な療法士が育つよう一層の努力を惜しまないつもりである。

（作業療法学科 田川 義勝）

（理学療法学科 奈良 勲）